

# 一般社団法人 日本安全保障・危機管理学会 概要

- 学会名称  
一般社団法人 日本安全保障・危機管理学会 (通称 :JSSC) Japan Society for Security and Crisis Management
- 設立  
平成 17 年 4 月 1 日
- 所在地  
〒102-0074 千代田区九段南 4 丁目 6 - 1 3 ニュー九段マンション 1 0 階  
TEL: 03-5962-0810 FAX: 03-5962-0820 E-mail: info@jssc.gr.jp HP: http://www.jssc.gr.jp
- 目的  
この学会は日本国民全体を対称とし、安全保障および危機管理に関する理論とその応用・実践について研究を深めつつ、有益な人材を育成し、大学、自治体および企業等へ送り込むことに寄与することを目的とする。
- 活動  
1. 定期的な研究会の開催  
2. 定期的な学術講演会、セミナーの開催  
3. インターネットサイトのサイトなどを利用した学会誌 (論文) 機関誌の発行  
4. 安全保障・危機管理の公的資格付与に関わる協力  
5. 学位取得に関わる協力  
6. 調査研究 (委託および受託を含む)  
7. 安全保障、危機管理に関する啓蒙教育およびコンサルタント事業  
8. その他、目的を達成するために必要な事業

## ■役員紹介

永世名誉会長：安倍 晋三 (元・内閣総理大臣、自民党)  
会長：岩崎 茂 (元・統合幕僚長)  
副会長：井上 幸彦 (元・警視総監)  
副会長兼事務：二見 宣 (元・陸自 業務学校副校長)  
常任理事：浅倉サカエ (元・陸自 事務官)  
宮崎 貞行 (元・帝京大学 教授)  
小澤 清治 (元・富士通㈱ Gp 役員)  
近藤 重克 (元・帝京平成大学 教授)  
塚本 和子 (リサーチ東京㈱ 代表取締役)  
大久保 浩 (大久保歯科 院長)  
生方 淳一 (ISMS 審査員資格保有者)  
佐々木博行 (金沢工業大学 特任教授)  
西久保博信 (㈱リスク・マネージャー 社長)  
福井 博 (元・空自、行政書士)  
伊東 寛 (初代・サイバー防護隊長)  
大西 俊幸 (スタンダードリンク㈱会長)  
監事：改発 正隆 (元・石川島播磨重工業㈱ 監査室)  
相馬 久男 (元・コクサイエアロマリン㈱ 社長)

特別顧問：千家 尊祐 (出雲大社 宮司)  
名誉顧問：渡辺 喜美 (前・参議院議員 みんなの党代表)  
顧問 (議員)：中谷 元 (衆議院議員 自民党)  
柿沢 未途 (衆議院議員 希望の党)  
大塚 拓 (衆議院議員 自民党)  
小田原 潔 (衆議院議員 自民党)  
石井 拓 (衆議院議員 自民党)  
佐藤 正久 (参議院議員 自民党)  
和田 政宗 (参議院議員 自民党)  
浜田 聡 (参議院議員 NHK 党)  
石井 苗子 (参議院議員 日本維新の会)  
下村 博文 (衆議院議員 自民党)  
嶋 幸一 (衆議院議員 自民党)  
顧問：菅原 一秀 (元・衆議院議員、元・経済産業大臣)  
宇都 隆史 (前・参議院議員、元・外務副大臣)  
玉沢徳一郎 (元・衆議院議員、元・防衛庁長官)  
松田 学 (元・衆議院議員)  
伊左次 達 (元・陸自 幹部学校長)  
吉川 榮治 (元・海上幕僚長)  
小川 和久 (軍事アナリスト)  
北芝 健 (犯罪アナリスト)  
沖 幸子 (㈱フラオグループ 社長)  
江崎 徹治 (前・警視庁 通信司令官)  
塩澤陽一郎 (元・日石不動産 社長)  
振角 秀行 (元・財務省官房審議官)  
葛城 奈海 (やおよろずの森・代表)  
徳原 榮輔 (アムス・インターナショナル㈱ 会長)  
村木 裕世 (元・空自・第2術科学学校長)  
顧問弁護士：桶谷 雅弘 (弁護士)

## 【セミナー会場のご案内】



## 日本大学 三軒茶屋キャンパス 1号館 2F (1201 教場)

東京都世田谷区下馬 3-34-1

### 最寄り駅

- 三軒茶屋駅 (東急田園都市線) 徒歩約 10 分
- 祐天寺駅 (東急東横線) から  
東急バスで 10 分「日大前」下車

# まず守りを固めなければ闘えない 世界に通ずる危機管理を明日から

## 第 14 回 クライシスマネージャー養成講座

### 組織リーダー必須 国内初の「安全保障・危機管理士」養成コース



# J.S.S.C

## 一般社団法人 日本安全保障・危機管理学会



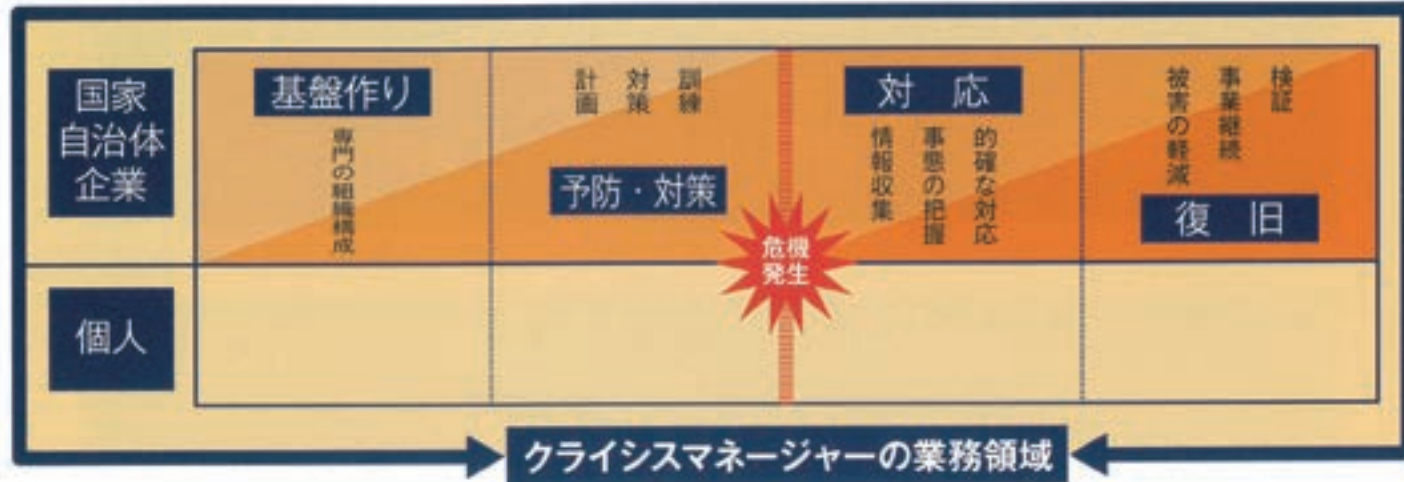
## クライスマネージャーとは

### [クライスマネージャーの資格が生まれた背景]

今日、情報化・グローバル化など内外情勢が大きく変動する中で、国家・企業・自治体・個人を取り巻く様々な危機が質的・量的に増幅しています。

こうした状況のもと自治体や企業等の自らの安全保障・危機管理能力の向上が強く望まれています。

総合的危機管理能力を習得した人材を得て、自らの危機管理能力を大きく高める必要性が今こそ望まれます。



危機が起きてからの対応だけでなく、起こさないための基盤作りから被害の復旧までを管理するのが「クライスマネージャー」

### [クライスマネージャーの技能とは?]

○安全保障・安全管理・情報収集管理・企業存続・CSR・BCP・防災・防犯・コンプライアンス…まで幅広い知識が求められ、その知識を身につけている人材。

○IPDCAの策定ができる人材。

○企業のCCO (Company Crisis Officer)、自治体の危機管理監として危機管理を日本に根付かせる人材。

### 〈危機管理業務におけるIPDCAサイクル〉



#### \*IPDCA

<b>Intelligence</b> (情報) (対情報)	情報収集・処理・管理・保全能力
<b>Plan</b> (計画)	従来の実績や将来の予測などをもとにして業務計画を作成
<b>Do</b> (対処・実行)	計画に沿った業務の対処・実行
<b>Check</b> (点検・評価)	業務の実施が計画に沿っているかどうか監視・確認
<b>Action</b> (改善・修正)	実行が計画に沿っていない点を改善・修正

## 日本安全保障・危機管理学会だからこそ可能な能力の養成

多岐にわたる国家レベルのクライスマネジメント実務経験者らによる即実行可能なノウハウを共有

- 内閣官房
- 内閣府・警察庁・警視庁
- 総務省・消防庁
- 法務省・公安調査庁
- 外務省
- 厚生労働省
- 農林水産省
- 経済産業省
- 防衛省・自衛隊
- 自治体関係
- 医学関係
- IT・金融システム関係

最新の情報  
企業・自治体と共有し  
いかなる危機にも対応できる  
危機管理体制を確立

企業・自治体等との協力体制を築き、「総合的」に危機を管理し的確に対応できる実践型人材の育成

### [受講者のメリット]

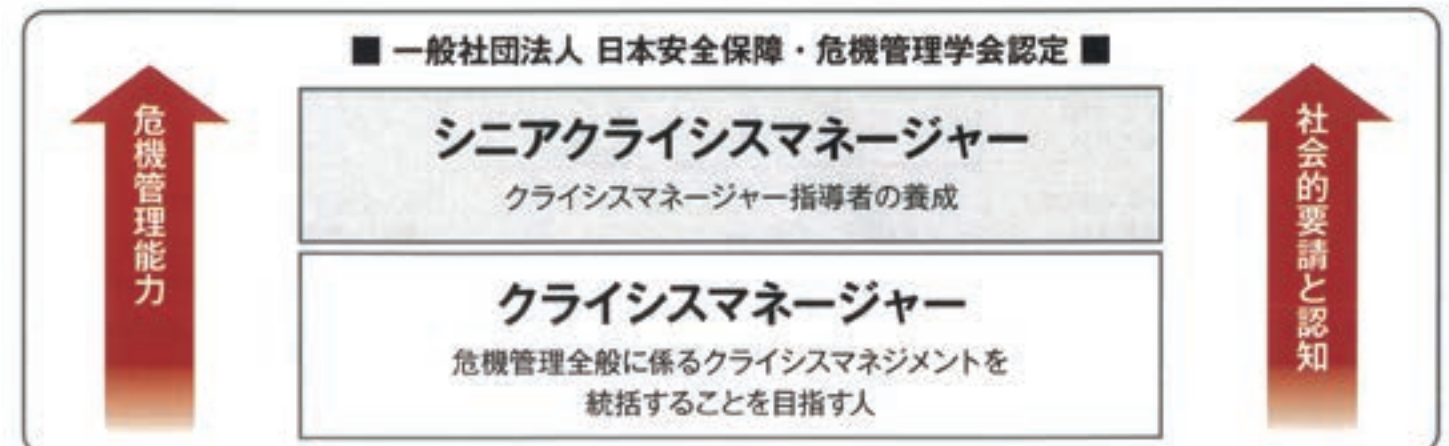
- グローバル会社における組織、人材、情報の保全を可能にするためのコンセプトワークができる人材と成り得る。
- 組織のリスクの見極め(バイタルレコードの特定等)が確実にできることで、BCPなどの策定の中核となる人材と成り得る。
- コンプライアンス経営に役立つ人材と成り得る。
- 具体的に組織の危機管理態勢を構築し、また実際に組織が各種危機に直面した際に、迅速に的確にその危機に対応する為の中心的役割を果たすことのできる人材と成り得る。

### [組織としてのメリット]

- こうした人材を活用することによって、組織は自らの危機管理能力を高めることができるとともに、ISO等の観点による企業価値の向上等、社会的評価と信頼を享受することができる。
- 組織内に危機管理ノウハウを蓄積することにより、危機発生時の迅速、的確な対応が可能になる。
- 万全な危機管理の体制をとることで新たな事業展開における危機回避が可能となり、事業のさらなる発展に寄与することができる。

### [クライスマネージャーの認定]

- 本講座内の単位全てを2年以内に履修し、安全保障・危機管理に関する総合的な知識と技能、そして実践力の修得を確認のうえ、「日本安全保障・危機管理学会」の認証を受けることによって、その資格を授与される。
- また、更新講座を受講することによって、資格が更新される。





# 第14回 クライシス・マネージャー 養成講座開講のお知らせ

## 一般社団法人 日本安全保障・危機管理学会

永世名誉会長 安倍 晋三 (元・内閣総理大臣、自民党)

会 長 岩崎 茂 (元・統合幕僚長)

理 事 長 二見 宣 (元・陸自 業務学校副校長)

担当参事 小山田 隆 (元・少年工科学校副校長)

平成 23 年の東日本大震災と福島第 1 原発の事故は、国家、自治体、企業レベルでの危機意識の欠如と危機管理態勢の構築がいかにも遅れていたかを露呈させ、日本国民がその必要性を改めて自覚・認識する契機となった筈でしたが、その後の群発地震、豪雨・台風、要人テロや猟奇的な殺人事件の連発、BCP体制の不備は継続しており、ウクライナ戦争やロシア・中国・北朝鮮の核脅威への対応、予想される首都直下型地震や東南海地震、富士山爆発など、まだまだ日本社会の危機管理態勢は脆弱といわざるを得ません。

当学会では、平成 21 年から標記養成講座を開講し、危機管理に関する理論とその応用・実践について分かりやすく解説することで、大規模災害やテロ、紛争、内乱、情報漏洩、経済問題など多様な危機に迅速・的確に対処できる人材を育てて参りました。

これまで 350 名以上のクライシス・マネージャーが育ち、国家機関、自治体、企業、地域社会などで活躍しています。

講師陣は、国家機関や企業などで長年危機管理業務を実践してきた実務経験者や専門家です。下記要領で実施いたしますので、多数のご参加をお待ちしております。

○期 日：令和 7 年 1 月 18 日 (土)、1 月 19 日 (日)

○会 場：日本大学 三軒茶屋キャンパス 1 号館 2F (1201 教場)

○受講料：全日 (2 日間) 会員 24,000 円 一般 26,000 円 学生 12,000 円  
(税込、テキスト・資料代を含む)

1 日 会員 12,000 円 一般 13,000 円 学生 6,000 円  
(税込、テキスト・資料代を含む)

再聴講 1 日 5,000 円 (資料代を含む)

一般社団法人 日本安全保障・危機管理学会 事務局

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-6-13 ニュー九段マンション 10 階

TEL: 03-5962-0810 FAX: 03-5962-0820 E-mail: info@jssc.gr.jp

# 第14回クライシスマネージャー養成講座

## カリキュラム表（令和7年1月18日、19日）（調整中）

日	講義 No.	時 間	課 目	講 師	所属等
第1日目 18日 (土)		09:30-09:40	開講行事	二見 宣	理事長兼副会長
	A-1	09:40-10:50	危機管理総論	(検討中)	
	A-2	11:00-12:10	サイバーとセキュリティー	畠山 浩明	NEC
	昼 食				
	A-3	13:10-14:20	大規模災害対処	佐藤 正	偕行社役員
	A-4	14:30-15:40	国際テロ対処	(検討中)	
	A-5	15:50-17:00	裁判事案対処	桶谷 雅弘	弁護士
第2日目 19日 (日)	B-1	09:30-10:40	核爆発・化学剤対処	中川 義章	元陸自研究本部長
	B-2	10:50-12:00	パンデミック対処	千先 康二	元中央病院長
	昼 食				
	B-3	13:10-14:20	装備品行政	吉岡 秀之	元空自補給本部長
	B-4	14:30-15:40	危機管理とセキュリティー	西久保博信	(株)リスクマネージャー社長
		15:50-16:50	認定試験	小山田 隆	参事
		16:50-17:00	閉講式	岩崎 茂	会長
解 散					

※都合により講座内容及び講師を一部変更することがあります。予めご了承ください。

### 講座の流れと受講の留意点

- (1) 各講座は、開始時間の10分前より受付を開始します。講座開始後15分で受付終了、その後は、締め切らせていただきます。万が一間に合わないときは、受講をキャンセルとみなし、一切の返金はできかねますので、ご了承ください。
- (2) 講座終了時に認定試験を実施し、その提出をもって講座の履修として、受講カードに履修済印を押してお返しします。
- (3) 全日コースを履修された方には、最終日、講座終了の修了証をお渡しいたします。  
(各講座単位で履修された方は、2年以内に残りの講座を履修官僚と認定試験を受験した時点で上記修了証をお渡しいたします。)
- (4) 認定試験採点后、合格された方には、後日クライシスマネージャー認定証を郵送します。

当日緊急連絡先：二見理事長 080-6507-5523      小山田 090-1600-5556

# お申し込みから受講までの流れ

## 1. お申込み

- a. 申込用紙と顔写真（必要に応じて学生証コピー）をご郵送ください。  
（受講申込は郵送のみ受付します。）

### 【同封内容】

- ・ご記入いただいた所定申込用紙
- ・カラー顔写真2枚 6か月以内に撮影のパスポートサイズ（縦45mm×横35mm（ふちなし））  
裏面に氏名明記
- ・学生証コピー 学生の場合は学生証コピーも同封してください。
- ・郵送送付先 〒102-0074  
千代田区九段南4-6-13 ニュー九段マンション10階  
一般社団法人 日本安全保障・危機管理学会

- b. 受講料は指定口座にお振込み下さい。尚、振込手数料は振込者ご負担でお願いいたします。  
三菱東京UFJ銀行市ヶ谷支店（店番号014）普通口座番号1366034  
日本安全保障・危機管理学会 フタミノブル

## 2. 受付確認

申込用紙・写真・受講料の入金が確認できましたら、受講受付完了の通知ハガキをご郵送いたします。尚、振込後、10日経過しても、受講受付完了の通知ハガキが届かない場合は、一般社団法人 日本安全保障・危機管理学会（TEL：03-5962-0810）までお電話でご照会下さい。

## 3. 当日

受付にて、ご郵送した受講受付完了の通知ハガキをご提出ください。

講座2日間用の受講カードをお渡しします。受講カードは講義期間中、毎回ご提示ください。

以下をお読みになり、ご同意の上、お申込み下さい。

※いったん納入された受講料は、受講前・受講途中にかかわらず、いかなる理由でも払い戻しや次期への振替はできません。

※受講は申込者本人に限ります。他人への貸与・譲渡することはできません。また申込者以外の代理出席はできません。

※他の受講生に対する営業行為、勧誘行為を目的とした受講、その他講座運営の支障をきたすことが予想される場合、受講をお断りすることがあります。ご了承下さい。

※天災・天候不順によるアクシデントや講師都合により、直前に日程変更になる場合がございます。その際の、交通費の保証はできかねますので、ご了承下さい。

一般社団法人 日本安全保障・危機管理学会 主催  
第14回「クライシス・マネージャー養成講座」  
受講申込書

申込締切：令和7年1月10日（水）必着

講座概要

- 開講日：令和7年1月18日（土）、1月19日（日）
- 講義数：9講座
- 場 所：日本大学 三軒茶屋キャンパス1号館 2F（1201 教場）

お申込み種別に☑をおつけください。 法人会員 一般会員 非会員 学生

記入漏れのないようにご記入下さい。

フリガナ		生年月日	年齢	性別
氏 名		昭和 平成 年 月 日	年齢	男・女
Eメールアドレス	@ 「0（ゼロ）」か「O（オー）」か「-（ハイフン）」か「_（アンダーバー）」かなど、間違いやすい点をご指示下さい。			
フリガナ				
勤務先	〒			
フリガナ				
勤務先住所	〒			
	電話		F A X	
フリガナ				
現住所	〒			
	電話		F A X	
希望連絡先（いずれかに○）	1. 勤務先 2. 自宅		参加形態	1. 企業・団体 2. 個人
日中連絡の取れる連絡先（固定電話または携帯電話）				
講座を知ったきっかけ	1. 知人の紹介（ご紹介者様のお名前： 会社名： ） 2. 学会機関誌 3. 学会ホームページ 4. その他（ ）			

顔写真の送付 6か月以内に撮影のパスポートサイズ（縦45mm×横35mm（ふちなし））のカラー写真を、裏面に氏名明記の上、申込書と一緒にご郵送ください。

学生証コピー 学生の場合は学生証コピーも同封してください。

申込書+顔写真 郵送送付先 〒102-0074 千代田区九段南4-6-13 ニュー九段マンション10階  
一般社団法人 日本安全保障・危機管理学会 宛

受講料振込先 三菱東京UFJ銀行市ヶ谷支店（店番号014）普通口座番号1366034  
振込手数料は負担ください。 日本安全保障・危機管理学会 フタミノブル